

練馬区立石神井障害者地域生活支援センターういんぐ 地域移行支援部会

1 専門部会での協議内容等

(1) 第4期地域移行支援専門部会開催日・内容

第1回：平成28年10月17日（月）

第3期の地域移行支援部会の活動概要を共有し、第4期への引継ぎ事項を確認

第2回：平成29年 2月 6日（月）

自立支援協議会の報告と地域生活支援拠点の整備について、拠点の機能として必要なことや地域で生活するうえで課題となっていることなどを協議

第3回：平成29年 6月26日（月）

第五期障害福祉計画・第一期障害児福祉計画策定に向けて、福祉サービス等に関することや施設入所者の地域移行に関することなどを協議

第4回：平成29年10月16日（月）

地域生活支援拠点の整備について意見交換と、ういんぐのピアサポーターの活動について説明および意見交換

第5回：平成30年 2月 5日（月）

地域生活支援拠点の整備案について、引き続きの意見交換と知的障害者の地域移行の現状について意見交換

第6回：平成30年 6月18日（月）

第4期地域移行支援部会における経過報告と協議

(2) 協議内容

- ① 障害者の地域移行および地域定着の支援に関する協議を行う。
- ② 障害者の住まいに関すること。

(3) 経過

第3期地域移行部会においては、精神障害者の地域移行の議論が中心で、知的・身体および高次脳の障害の方等についても協議をしていく必要があるという課題がだされ、第4期地域移行支援部会では、精神障害に限らず様々な障害分野での地域移行について検討するため、委員に知的、身体の事業所も含め検討を行っている。

2 各委員からの意見等

【地域移行支援について】

- ・グループホームが不足、空き家の利用など地域資源活用の可能性の検討が必要。
- ・施設からの地域に移る時の住まいを、自己決定できるように選択肢が必要。
- ・日中・夜間・土日とトータル的にその人をみていくことが必要。
- ・体調が少し悪くても地域で住み続けられる支援の仕組みづくりが必要。
- ・都営住宅の建て替えにあわせてグループホーム化が望ましい。
- ・区の主導でグループホームを増やしていくことが必要。

- ・知的障害者の特性を理解して必要な支援を組み込んでいく。
- ・知的障害者は意思決定の機会がほとんどない。自分で自分のことが決められるような体験の機会を子どものうちから提供する必要がある。
- ・障害と介護との連携が必要になっていくため、人材育成と人材の確保が課題。
- ・緊急時の対応がきちんと出来るシステムが必要。
- ・若いころから高齢になった時のことを考えられると良い。
- ・レスパイト・発病防止のための短期利用ができるショートステイが必要。
- ・重心の方たちが利用する上でもショートステイに医療・看護をどう取り入れていくか検討する必要がある。

【地域生活支援拠点について】

- ・高齢分野と障害分野が拠点事業と一緒に取り組む仕組みづくりが必要である。
- ・緊急時・夜間のコーディネーターの力量が問われる。知的障害者や高次脳機能障害者など、行動抑制が難しい利用者を地域でどのように受け入れていくか課題。
- ・24時間の見守り体制をどうするか。
- ・知的障害者の体験場所という目的に加えて、精神障害者のレスパイトを目的としたショートステイの受け入れ先が必要。
- ・医療ではない組織が地域づくりに積極的に参加をして、そこに医療が関わると良い。
- ・緊急時と拠点を分けて考える必要がある。

【第五期障害福祉計画・第一期障害児福祉計画について】

- ・福祉サービス等に関することでは専門性の高い相談支援事業の機能の充実が望まれる。ショートステイの受け入れ先を増やしていき、体験の場を提供できるようにする必要があるのではないか。
- ・医療的ケアが必要な児童が通所できる施設が足りない。

3 第4期地域移行支援部会で挙げられた課題等

- ① 精神・知的・身体・高次脳機能の障害者の方についての協議をしていく必要がある。また、その特性について学ぶ必要もがある。
- ② 障害福祉サービスと介護保険との連携が円滑にできるように、人材の育成と確保。
- ③ ショートステイなど体験の場の提供を増やす必要がある。
- ④ 当事者の活動を応援して活動の場を広げていく。
- ⑤ 意思決定の機会をいかに幼少期より養っていくか。
- ⑥ 地域生活拠点を活かした定着支援の仕組みを整える。
- ⑦ 医療ニーズの高い障害児を地域でどのように支援をしていくか。
- ⑧ レスパイト・発病防止など様々なニーズに応じたショートステイの活用を考える。
- ⑨ 医療ではない組織が積極的に地域づくりに参加をしていく。

参考

施設入所者の地域移行について

- ・ケアマネジメントの手法は大事な視点である。
- ・知的障害者は医療にかかる率が高いが、入院する病院がないのも現実である。
- ・知的障害者の入所施設が特養化している。
- ・施設の卒園者の多数が、その地域のグループホームに住むという地域移行支援をしている所もある。
- ・知的障害者の場合、地域に資源がないと一人暮らしは難しい。
- ・子どものうちからショートステイの経験をして欲しいと考える。
- ・障害特性にあわせて24時間365日の計画が必要になる。ご本人たちは体験することで情報を理解していくので、子どものうちから体験して選択する経験が大切。
- ・ライフステージにあわせた施設を作っていく必要がある。

ういんぐのピアサポーター活動

*ぴあまっぷ 第15号 (資料6-2)

第15号 (Vol. 15)



平成29年(2017)年12月26日発行
 発行責任者：社会福祉法人練馬区社会福祉協議会
 豊玉障害者地域生活支援センターきらら
 〒176-0012 練馬区豊玉北5-15-19 豊玉すこやかセンター6F
 TEL.03(3557)9222 / Fax.03(3557)2090
 石神井障害者地域生活支援センターういんぐ
 〒177-0041 練馬区石神井町7-3-28 1F
 TEL.03(3997)2181 / Fax.03(3997)2182

「ぴあまっぷ」多くの仲間(ぴあ)にとっての地域での道しるべ(まっぷ)となり、様々な情報をお伝えしたいという思いで名づけました。

サポーター活動報告

ぴあまっぷは地域で暮らす当事者=仲間(ぴあサポーター)が中心となって作っています。

○病棟訪問

★大泉病院【9/15(金)】

～はたらくことについて～

職場、作業所の現場の説明をしました。

参加者からは退院の道筋、人間関係のことについてなどを聞かれました。

参加者からの強い希望で、少人数のグループで話すことを提案し、その後の座談会形式へとつながりました。



★陽和病院【9/8(金)】

～きららのカレー昼食会に参加～



「天気良かった。」「外出できて良かった。」「街並みは行ってみたいと分からない。」「久しぶりに来れて良かった」などの感想をいただきました。

バスと電車を乗り継いできてくださって、ありがとうございました。

また来てくださいね！



★慈雲堂病院「かんたん節約料理」【8/16(水)】

一人暮らしをする際の節約のために、カット野菜やミックスベジダブルなど冷凍食品を用いて、手軽にできる料理をしました。当日は、チャーハン、サンドイッチ、焼きそばとラーメンの3グループに分かれて作りました。



★東京武蔵野病院 あきぞら祭【10/12(木)】

テレビを用いて作業所マップを披露しました。「作業所って何だろう？」とおっしゃる方もいました。お話を伺いながら個別にご自宅近くの作業所の情報提供を行いました。

つぶやき…

☆久しぶりのぴあまっぷの発行嬉しいな！ (by すわっち)

☆本音で語る！ (by くに)

☆来年から学生になるので勉強頑張ります！ (by 歩く六法全書志望)

☆年末年始のために貯金します (by かーねるサンダー)

☆一人でも多くの方が退院できたらいいな。 (by くらげ)



入院中の方々へのメッセージ

退院すると時間を自由に使えるようになります。

その一方で、自分の身の回りのことを自分でこなすことが、必要になります。

地域で充実した生活をすごしている方々に、一日の過ごし方を聞いてみました！

病院でのとある一日例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
 就寝							起床		朝食	自由時間	自由時間 (OT、入浴等)		昼食	自由時間	自由時間 (OT、入浴等)		自由時間	夕食	自由時間		就寝		

地域でのとある一日例 (日中「デイケア」を利用する方の場合)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
就寝 							起床 ゴミ出し	朝食 (調理・ 片付け)	移動	デイケア		昼食	自由時間	デイケア		移動	買物 調理	夕食 片付け等	自由時間 (入浴、洗濯等)		就寝		

地域でのとある一日例 (日中「地域生活支援センター」を利用する方の場合)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
 就寝							起床 ゴミ出し	朝食 (調理・ 片付け)	自由時間 				昼食 (外食)	地域生活支援センター (プログラム利用等)		夕食 (外食)	自由時間						

地域でのとある一日例 (日中「作業所」に通う方の場合)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
就寝 							起床	朝食	自由時間 (洗濯、ゴミ出し等)	移動	作業所		昼食	作業所 		移動	買物	通院	移動	夕食 (調理、片付け)		入浴	就寝	

退院前のAさんの一場面

Aさん：退院したら地域での生活はみんなどんなふうには過ごしているんだろう？

Bさん：日中の過ごし方は、デイケア、地域生活支援センター、作業所とか自由だよ！

Cさん：主治医に相談したらいいよ！

Dさん：働きたい希望、生活のことなどを地域生活支援センターに相談もできるよ！

Aさん：いろいろと教えてくれてありがとう！

B・C・Dさん：どういたしまして！